



韓国ツアー 昭和50年



松商修学旅行 昭和36年



バンコクツアー 昭和56年



宮島旅行 昭和41年

つよさんののお楽しみ日記 84

「新型コロナウイルスと修学旅行」の巻

二月初めに新型コロナウイルス問題が発生、春までには終息するかと思っておりましたが……。未だに見通しが立たず、我々旅行業界は大変な時代を迎えています。

三月初旬より、修学旅行ははじめ春の旅行が変更や取消しとなり仕事は全て無くなり、今では一日十本程度の電話と来店者が一、二名となっています。

ほとんどの社員は自宅待機し二、三人の社員がお客様にご迷惑をおかけしてはいけないと自発的に午前中会社に出ています。

さて、春はなんとと言ってもも人生一番の思い出と言われる修学旅行のシーズンです。皆さんもいろいろな思い出があることと思います。

私は昭和三十年の春が修学旅行でした。同年代そして先輩の方は覚えていらつしやると思いますが、宇高連絡船の紫雲丸の沈没事故が発生した年でした。県下の小中学校の生徒も犠牲となり、私達の修学旅行も秋に延期になりました。そして、別府方面への予定であった旅行が船を使ってはいけないという事になり高松(琴平・栗林公園・屋島)へと変更になりました。

私にもいろいろな思い出が残っていますが、松山駅から夜行列車で多度津まで通路に新聞紙を敷いて寝たこと、定番であった枕投げをしたこと、屋島山頂から源平合戦のお話を聞き、昔の時代を想像したこと等が今でも鮮明に残っています。春から秋に延期になった皆さんの修学旅行が無事行えることを祈っています。社員一同、皆さんと素敵な旅が出来る日を！じっと耐えながら明日を信じて待っています。(残念ながら修学旅行の写真がみつかりませんでした)



中村剛志